

<添付資料>

1. 懇話会委員名簿

(50 音順・敬称略)

No.	氏 名	所属・役職等
1	おか もと たけし 岡 本 武	静岡県東部地域支援局長
2	か とう まさ ひさ 加 藤 真 久	NPO 法人 沼津市体育協会 会長
3	き ど えい じゅ 木 戸 英 壽	沼津商工会議所 専務理事
4	く どう まさ のり 工 藤 政 則	公募委員
5	さ く ま きよ ひと 佐久間 清 人	公募委員
6	たか ぎ たかし 高 木 孝	沼津市自治会連合会 会長
7	たけ うち なお ふみ 竹 内 直 文	財団法人 民間都市開発推進機構 常務理事
8	つばき み ほ 椿 美 邦	公募委員
9	なが しま たま み 長 島 玲 美	沼津青年会議所
10	なか やま とも の 中 山 友 乃	公募委員
11	なか やま まさる 中 山 勝	財団法人 企業経営研究所 常務理事
12	にし じま あき お 西 島 昭 男	株式会社 シード 代表取締役社長
13	ほし や なお き 星 谷 尚 輝	公募委員

2. 委員からの意見（抜粋）

- 沼津市の人口も減っていく中で沼津の魅力づくりを根底から考え直す必要があり、人集めをどうしたらいいかということをまず考えるべき。人口減少、高齢化という流れの中で商業や健康をどのように結びつけていくかということを考えなければならない。
- 拠点が一つあっただけでは駄目で、街そのものの魅力を高めることが人口減少社会における拠点づくりとして重要なポイントになる。
- 鉄道跡地利用は30年、50年先を見据えて考えなければならないが、特に人口減少・高齢化社会に向けてどのようなことをすれば、街に人が集まるかということを考えることが重要。一つの例として、かつての「沼津で東京のお買い物」といった西武デパートのキャッチコピーに代わるような沼津のステータスのようなものを期待している。
- 定住人口を確保するため、住民ニーズに対応した行政サービスの提供について検討すべき。
- 10年間というタイムスケジュールがあるので、その中で市民の方々、特に商業者とどういうコンセプトを持ってやっていくかが大切。
- いかに交流人口を増やし、回遊性を高めるように整備するか。沼津市の産業で考えれば、観光の位置づけは若干弱い。沼津港周辺の食に関しては、ポテンシャルとして非常に高いので、それを誘導する仕掛けがあれば良い。
- 公共交通も電気自動車に変わっている可能性もあるので、これからは緑・健康・環境がキーワードになるのでは。
- 青森市と富山市の中心市街地活性化基本計画が認定されたのは寒冷地であるということが大きな要因となったようだ。沼津市にはそういう条件がないが、徐々に自動車を使わずに、バスで移動して歩いていくというのは大きな方法としては大事。
- まちづくりを考える時に2つの視点があって、高次都市機能を呼んできて産業を導入し、経済を活性化するというのは非常に大事。ただ一方で定住人口がつかってくれないとまちはなくなってしまう。息子や孫が離れて行って、東京に行ってしまったら、いくら外から施設が来ても、コミュニティーは破壊されるわけで、両方の視点が必要となる。これからは顧客満足度を高めるまちづくり、あるいは地権者の方々が発意してどうするかという話を進めていきたい。
- 鉄道跡地は順番に空いていく。まず何を優先事項とすべきなのかを考える必要がある。ましてや一部は民間の土地で勝手にできる話ではない。20年30年かけて議論していかなければならない。

- どういう手順で、どういう方向で跡地を活かしていく世論をつくるか、雰囲気をつくるかということが大事。
- 鉄道跡地は、点々としているので、案内マップを作成したり、駅前にレンタサイクルを設置するなど、高齢者や子どもでもいろいろな所に行けるようにしては。
- 沼津駅周辺から大型店が撤退した要因の検証が必要。
- 商店街のブロックごとに大型商業施設のフロアのようなコンセプトをつくる。
- 歩いて楽しいという魅力を持たせるため、商店街ごとに休憩場所や広場を設ける。
- にぎわいを生む定期的なイベントを開催するほか、商店街全体でポイントカードを発行するなど、さらなる連携を図ることが必要。
- 商店主向けにマーケティング講座を開催してはどうか。
- 女性や高齢者が利用しやすい平面駐車場の整備。
- 大学・短大は少子化の中で経営難に陥っている。新たな大学をつくることについてはしっかり考えていく必要がある。
- 貸しホールや貸し会議室、会議や研修会ができる施設を沼津駅周辺に欲しい。
- 沼津市は青少年健全育成都市宣言をしている。子どもたちのために科学館を作ってはどうか。
- 音響の良い音楽ホールができれば、心が豊かになっていくと思う。
- 商業でも産業でもいいが、とにかく目的を持たせるような仕組みをつくれば、人は集まってくる。
- ファルマバレー関連施設は、鉄道跡地への導入機能の有力候補の一つとして挙げられる。しかし、そうした施設を誘致する時に単に鉄道跡地が使えるというだけでなく、沼津の街そのものにこんな魅力や付加価値があると言えるようにしたい。
- がんセンターと連携を図り、ファルマバレープロジェクトについて県東部の市町で役割分担を整理すれば、ビジネスチャンスが生まれる。
- 生涯スポーツだけでなく、競技スポーツの振興を図る環境づくりも必要。
- 沼津駅周辺総合整備事業と併せ、東駿河湾環状道路の西区間やスマートインターチェンジの整備促進も図ってほしい。